

今季は全タイトルを

盛岡で鹿島・小笠原に聞く

チームのため懸命に

「リーグ鹿島アントラーズのMF小笠原満男(大宮中・大船渡高出)は15日、総合アドバイザーを務めるレノウェンスオガサFCのサッカー教室のため訪れた盛岡市の盛岡商高体育館で、天皇杯を制した昨季を振り返り今季の目標などを語った。



「タイトルを全部取れるように頑張る」と今季の抱負を語る小笠原満男

「子どもたちとプレーしたか。感想を聞かせてほしい。」
 「何かを感じてほしい、自分も何かをもらえたらと思う。一生懸命やる気持ちが大切で、そうすれば上達する。」
 「昨季を振り返ってどう

か。
 「天皇杯は優勝できたが、リーグは4連覇を逃した。年間を通すと悔しい思いの方が強い。」
 「自身のどんなプレーを見ているか。チームのために何ができるか。勝利のために一生懸命やっている姿を見てほしい。」
 「今季の目標を。」
 「チームとしてアジアチャ



サッカー教室で子どもたちと一緒にプレーする小笠原満男(左)

オガサFCの児童生徒指導

自らの名前を冠したサッカーチーム・レノウェンスオガサFCの総合アドバイザーを務める小笠原満男(鹿島、大宮中・大船渡高出)のサッカー教室は15日、盛岡市の盛岡商高体育館で開かれた。同クラブの小・中学生ら約180人が参加。小笠原と一緒にミニゲームを行い、パスやドリブルなどトップ選手の技術に触れた。

小笠原は「プレーを見て何かを感じてほしい」と選手を励まし、落合秀哉主将(滝沢中3年)は「攻守ともうまくい。ポディーバランスがいい。将来は小笠原選手のようにになりたい」と、憧れの選手からの指導に刺激を受けていた。

ンピオンズリーグを取りに(優勝し)いく。リーグ、天皇杯、ナビスコ杯とタイトルを全部取れるよう頑張る。」
 「昨年は日本代表から漏れた。日本代表に対する思いは。」「プレーしたい場所ではあるが、自分だけではどうしようもない。代表に入るためにプレーするのはない。チームのためにプレーして、それ

が認められて、呼んでもらえるならば、また代表でやりたい気持ちはある。」
 「岩手のファンにメッセージを。」
 「試合が多くて休みが少なく、なかなか帰ってくるのができない。テレビなどを通じてしかプレーを見せられないが、できればスタジアムに足を運んで応援してほしい」